

こんにちは 森林官です!

後志森林管理署
京極森林事務所
首席森林官
(倶知安・京極担当区)
嶋貫 新二



こんにちはです

当事務所は、倶知安町・京極町内の国有林約1万4千haを管理しており、両町の森林面積の約40%を占めています。

両町中心部を流れる尻別川は春から秋にかけラフティング(ゴムボートによる川下り)が盛んであり、今年7月に国交省から水質が最も良好な河川として公表された全国18河川の中の一つであり、国有林の事業においても汚濁発生防止に取り組んできたことから、誇りに思います。

国際リゾート地



ニセコグランヒラフと花園スキー場

倶知安担当区部内には、ニセコグランヒラフ・花園・ワイスの3つのスキー場があり、パウダース

ノーを求め海外からのお客様が多く、国際リゾート地へと発展を遂げ、現地は海外に居るかのような気分が味わえます。

水源林としての国有林

京極担当区部内では、国有林を源流とするペイナイ川に二つの大型ダムが設置されており、一つは農業利水専用の「双葉ダム」で、その水は京極町・倶知安町はもとより、30数キロ離れた共和町まで送られ、地域農業には欠かせないものとなっております。もう一つは、双葉ダムの上流部に北電が建設した揚水式発電の「京極ダム」です。



京極ダム(北海道電力株)

二つのダムが機能するために国有林が水源かん養の役割を通じてその一

防風林

当部内には、幅約50m延長約1.5kmのカラムツを主体とした防風林があります。この林は、農地に隣接し、地域住民と密接な関係にあることから、立木の老齢化による枯れ木の確認や境界の巡視は重要な業務となっております。



巽(たつみ)防風保安林(倶知安町)

また、ワイススキー場近辺は、山菜のタケノコの採取に多くの方が訪れます。シーズン到来とともに、林道の状況を確認する問い合わせが殺到し、林道や接続する道道には

多くの車が駐車するので、交通安全や山火事注意を促しています。併せて、行方不明などの事故が起きないよう声かけしているところです。

町有林への支援

今年度から倶知安町の町有林森林整備計画策定に向け地元の森林管理署として支援することとなり、私もそのメンバーとして参画しています。

構成組織である後志総合振興局・近隣町村の林務担当者にも参画いただき、現地検討会等を開催してきました。補助金の活用など国有林とは違った視点もあることから、今後何が出来るか検討しながら支援していきたいと考えています。

おわりに

森林からさまざまな恩恵を受けていることを日々の業務をとおして感じております。森林の恩恵を継続させるため、引き続き業務に努めていきたいと考えています。